



## ハチにはどれくらいの種類しゅるいがあるの

### 12万種類まんしゅるい以上いる

世界中せかいじゅうの動物どうぶつを種類しゅるいで分けると、その4分の3ぶんの数が、こん虫ちゅうの仲間なかまになります。こん虫ちゅうは、それだけ種類しゅるいが多いわけですが、そのこん虫ちゅうを、さらに種類しゅるい分けしてみると、いちばん多いのが、カブトムシやコガネムシなどの仲間なかまである甲虫こうちゅうで、およそ28万種まんしゅ、次に多いのが、ハチの仲間なかまで12万種まんしゅ、チョウやガの仲間なかまで、およそ、11万種まんしゅとなります。

日本でも、5000種類しゅるいぐらゐのハチがいることが、わかっています。しかし、研究けんきゅうが進めば、さらに新あたらしい種類しゅるいのハチが、まだまだ、発見はっけんされるだろうといわれています。

### ハチは人間にんげんに役やくに立たつ

ミツバチは、今いまから5000年ねん前まえには、はちみつを取とるために、エジプトで飼育しいくされました。どうくつに残のこされた絵えで、わかったのです。日本では、643年ねん、仏像ぶつぞう作りつかに使うみつろうを取とるため、たくさんのミツバチを韓国かんこくからとりよせ、飼かっていた、という記録きろくが残のこっています。最近さいきんでは、ハウスで育てる果物くだものなどの受粉じゅふんに、ハチはなくてはならないこん虫ちゅうとして大切たいせつにされています。ハチは、花はなから花はなへみつや花粉かふん集あつめで飛とび回まわるとき、花粉かふんを運はこんでくれる役目やくめをしています。果物くだものは、めしべに、同じ種類しゅるいのほかの花はなの花粉かふんをくっつけないと、実みがならないのです。人間にんげんが手てでつけてやることもありますが、とても、ハチのスピードにはかないません。カリウドバチは、植物しょくぶつの害虫がいちゅうをとってくれます。

### 人ひとをさすハチは少すくない

スズメバチやクマバチなどにさされると、人ひとが死しぬようなこともあります。しかし、たいていのハチは、めったに人ひとをさしたりしません。毒どくをもっているものも、少すくないのです。

(監修・中山 周平)

